

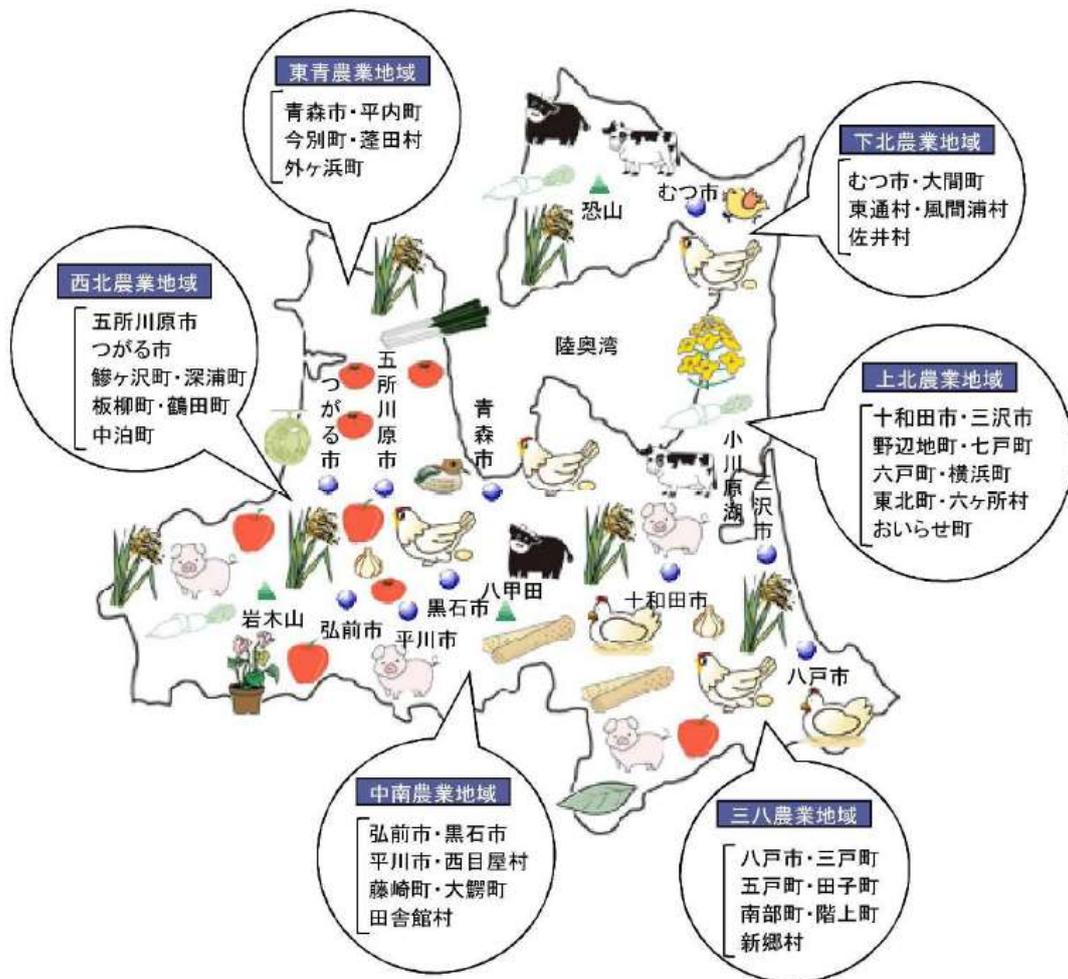
## 青森県における普及指導活動の体制

## 1 地域別農業の概要

地域別の農業産出額は、東青・中南・西北農業地域では、米と果実が上位を占め、特に中南農業地域は、世界でも有数のりんごの一大産地を形成している。

また、三八・上北・下北農業地域では、野菜、畜産が重要な地位を占めている。

県全体の産出額の作目別構成比は、多い順に、果実、畜産、野菜、米で、バランスが取れた構成となっている。



地域別農業産出額上位品目（令和元年）

順位	県計	東青	中南	三八	西北	上北	下北
1	果実	米	果実	野菜	米	野菜	肉用牛
2	野菜	果実	米	ブロイラー	果実	豚	生乳
3	米	野菜	野菜	鶏卵	野菜	肉用牛	野菜
4	豚	鶏卵	—	果実	—	米	米
5	肉用牛	—	—	米	—	生乳	—

資料：生産農業所得統計

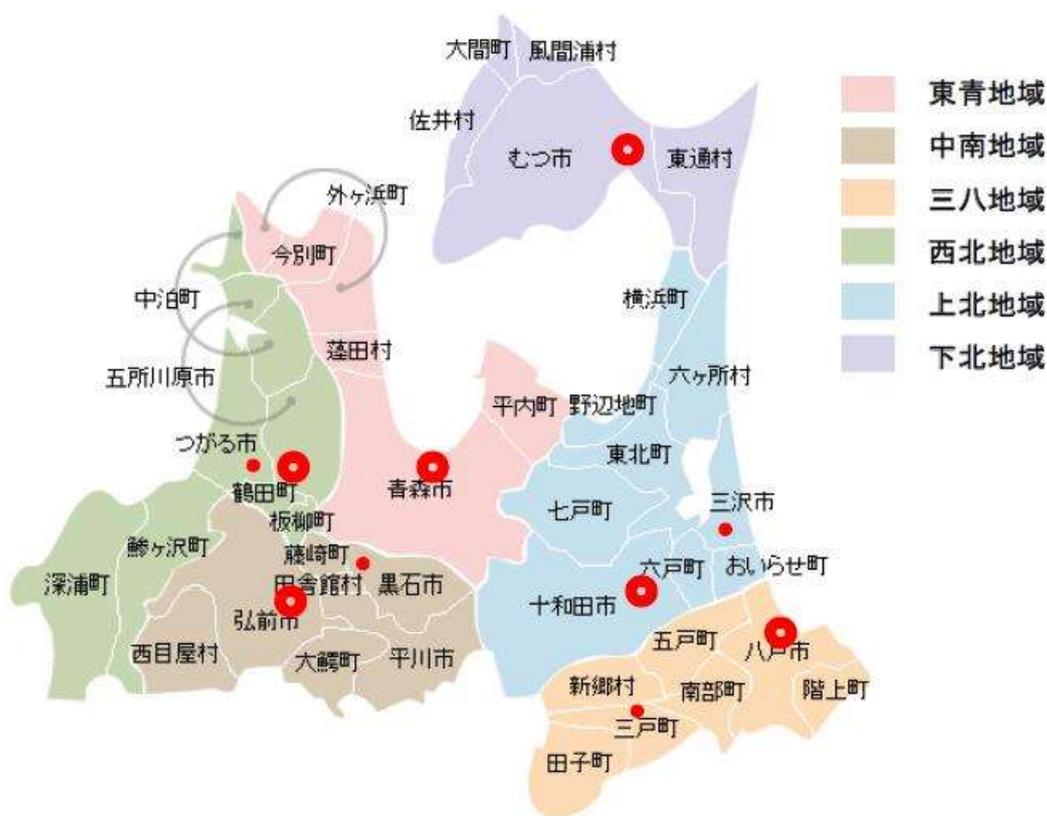
## 2 普及指導の組織体制

### (1) 農業普及振興室の設置

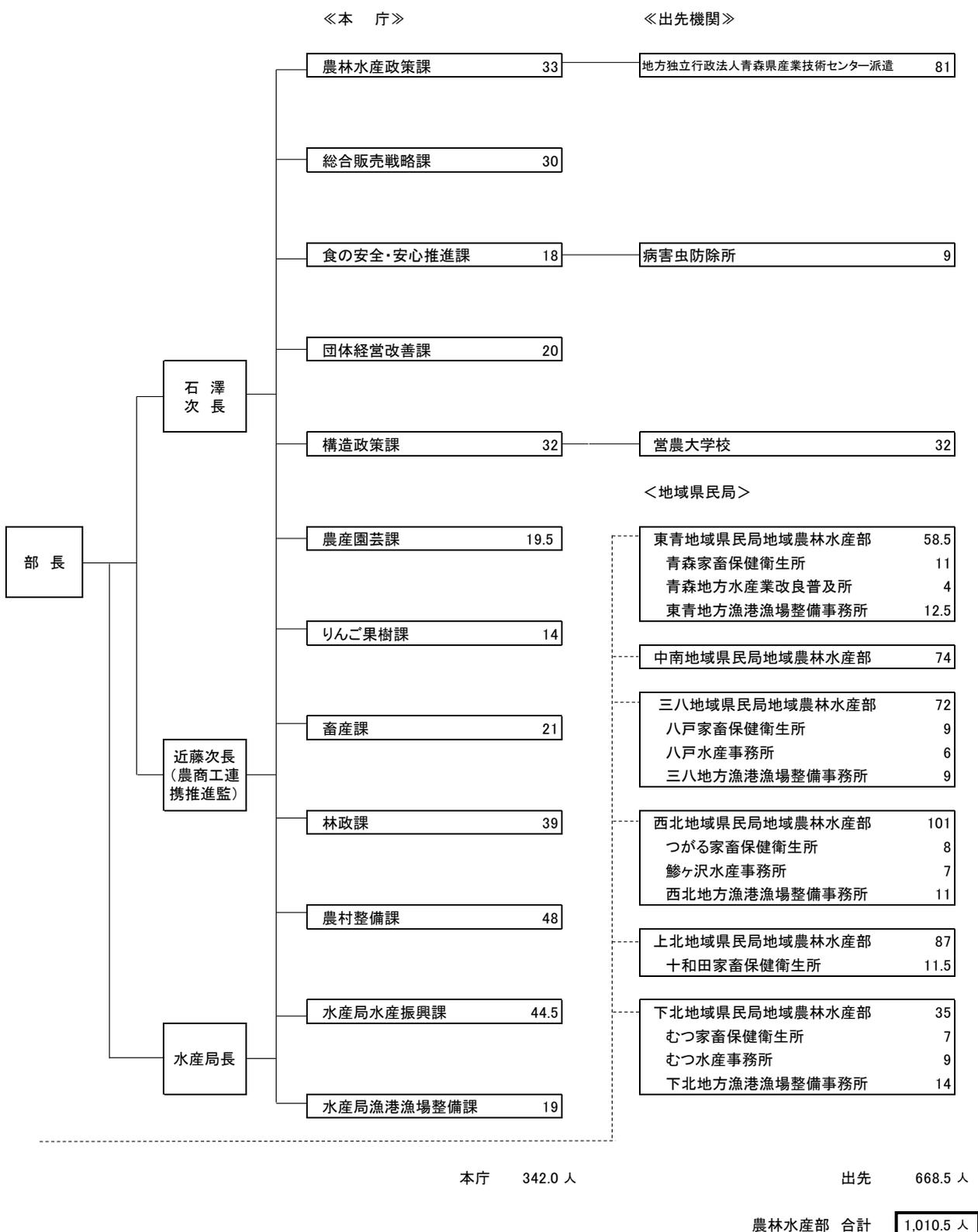
県内6か所の地域県民局地域農林水産部に「農業普及振興室」を設置し、農業者等の利便性を考慮し、黒石市、三戸町、つがる市、三沢市の4か所に分室を配置している。

### (2) 農業革新支援センターの設置

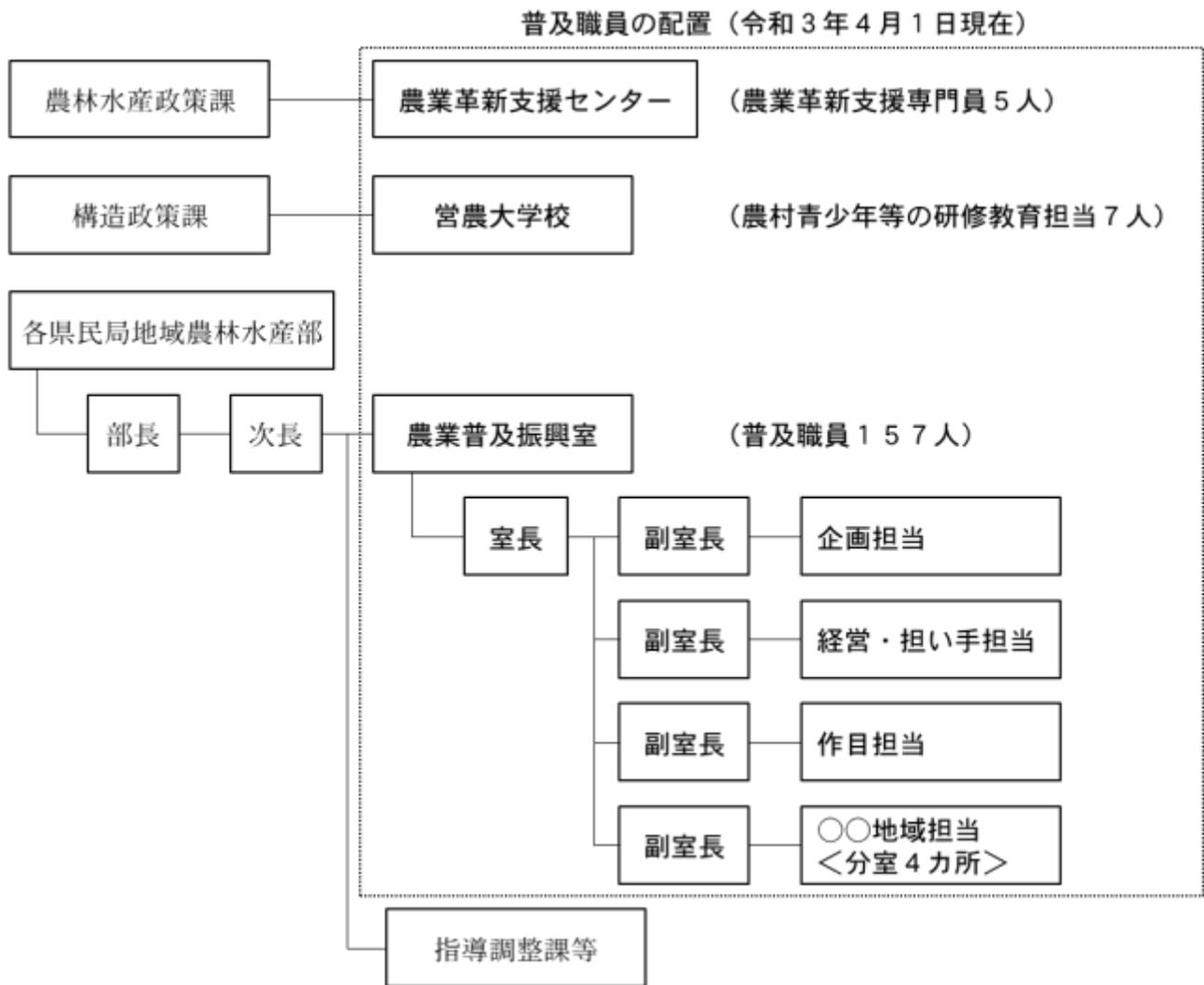
農林水産政策課内に農業革新支援センターを設置し、土地利用型作物、野菜、果樹、農業経営、農山漁村女性活動を主担当とする5人の農業革新支援専門員を配置している。



### (3) 農林水産部の組織体制（令和3年4月1日現在）



(4) 普及部門の組織体制



### 3 普及職員の設置状況

#### (1) 普及職員1人当たり農業産出額及び販売農家数の東北各県等との比較

(単位：億円、戸、千ha、人)

区分	農業産出額	販売農家数	耕地面積	普及職員数	普及職員1人当たり		
					農業産出額	販売農家数	耕地面積
	(A)	(B)	(C)	(D)	(A/D)	(B/D)	(C/D)
青森県	3,138	28,062	149.6	169	18.6	166.0	0.89
岩手県	2,676	33,861	149.3	203	13.2	166.8	0.74
宮城県	1,932	28,632	125.5	158	12.2	181.2	0.79
秋田県	1,931	27,780	146.4	108	17.9	257.2	1.36
山形県	2,557	26,796	115.8	137	18.7	195.6	0.85
福島県	2,086	41,060	137.3	244	8.6	168.3	0.56
東北	14,320	186,191	823.9	1,020	14.0	182.5	0.81
全国	89,387	1,027,892	4,349.0	7,254	12.3	141.7	0.60

資料 農業産出額：生産農業所得統計（令和元年）

販売農家数：2020年農林業センサス（令和2年）

耕地面積：耕地面積統計（令和3年7月15日現在）

普及職員数：普及事業活動体制調査（令和3年）※実務経験中職員及び農村青少年等の研修教育担当を含む

(2) 本県における普及職員の動向（令和3年4月1日現在）

行財政改革等により全国の普及職員や県の行政職員が減少しており、普及職員数も同様に減少傾向にあり、平成26年と対比して93.9%の169人となっている。

全ての地域で減少し、特に西北の減少割合が高い。

(単位：人、%)

地域名	H26	R 3	普及職員増減割合 (R3/H26)
東青	23	21	91.3
中南	34	31	91.2
本室	27	26	96.3
黒石分室	7	5	71.4
三八	26	25	96.2
本室	21	20	95.2
三戸分室	5	5	100.0
西北	36	32	88.9
本室	24	23	95.8
つがる分室	12	9	75.0
上北	36	35	97.2
本室	30	29	96.7
三沢分室	6	6	100.0
下北	14	13	92.9
農林水産政策課 (農業革新支援専門員)	5	5	100.0
営農大学校 (農村青少年等の研修教育担当)	6	7	116.7
<b>県計</b>	<b>180</b>	<b>169</b>	<b>93.9</b>
全国	7,367	7,254	98.5
<参考>県行政職員	3,931	3,787	96.3

※1 基準年は県の行財政改革実施計画（平成26年3月）の策定年度とした。

※2 普及職員数には実務経験中の職員を含む。

#### 4 職員の資質向上の取組状況

普及指導員の能力を継続的に向上させ、長期的な視点から普及事業に必要な人材を育成するために、目指すべき人材像や求められる資質、人材育成に向けた取組方針等を記載した「青森県普及指導員人材育成計画」を平成28年2月に策定した。

また、普及指導員に求められる高度・先進的な技術指導能力及び地域農業の課題解決能力を強化するため、毎年度、「普及指導員研修実施計画」を策定し、職員個々の能力や研修に対するニーズを把握しながら、国及び県段階の研修等を効果的に組み合わせ、資質向上を図っている。

##### (1) 県が実施する研修（農林水産政策課が実施する研修）

###### ア 集合研修

研修名	内容	期間 (日)	人数 (人)	対象者	出席者 (実人数)	
					R 2	R 3
新任者基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「攻めの農林水産業」と普及指導員の役割【講義】</li> <li>・協同農業普及事業の概要と普及指導活動の基本【講義】</li> <li>・普及指導員資格試験対策【講義】</li> </ul>	1日	配属者数	普及職員1年目の者	6	8
普及指導員養成研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及指導員資格試験対策【講義、演習】</li> <li>・普及指導活動の進め方【講義、演習】</li> <li>・論文作成及び添削指導【演習(随時)】</li> <li>・普及指導員資格試験【受験】</li> </ul>	6日	—	普及職員2年目以降の普及指導員資格未取得者	18	17
農業経営基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複式簿記の基礎【講義、演習】</li> <li>・経営分析手法の基礎知識【講義、演習】</li> </ul>	3日	—	普及職員2年目の者等	9	7
専門指導力養成研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営、青年農業者育成、農山漁村女性活動・農産加工、土地利用型作物、野菜、花き、果樹、畜産、普及指導活動の専門ごとに基礎知識や課題解決能力の向上のための研修を実施【講義、演習、オンライン機器活用手法等】</li> <li>・研修対象者に対する、担当革新支援専門員の設置</li> </ul>	専門ごとに2日程度	—	普及職員おおむね5年以下の者	29	33
普及手法研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域農業普及振興室等で取り組んでいる優良普及指導活動から普及手法を学ぶ【事例研究】</li> </ul>	1日	—	普及職員おおむね10年以下の者	25	33

専門技術強化研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門指導力養成研修の専門ごとに課題解決のための研修を実施</li> <li>・ 土づくり、GAP、スマート農業技術等分野横断的な技術習得のための研修を実施【講義、演習、オンライン機器活用手法等】</li> </ul>	専門ごとに3日程度	—	普及職員 <u>若手農協職員</u>	124	93
----------	---	-----------	---	-----------------------	-----	----

### イ 派遣研修

研修名	内容	期間(日)	人数(人)	対象者	出席者(実人数)	
					R2	R3
農家派遣研修	・ 先進的農業者での農業及び生活体験【実習】	20日程度(2週間×2回)	—	原則として県職員採用5年未満で普及職員1年目の者	6	7
専門技術向上研修	・ 部門別の基礎技術・知識の習得【講義、実習等】	20日程度(2週間×2回)	配属者数	普及職員2年目の者(試験研究機関等において実務経験のある者を除く)	5	6
農業経営アドバイザー研修	・ 農業経営アドバイザー資格取得に向けた研修【講義、演習】	7日	1	経営改善支援担当者	1	1
担い手育成研修	・ 全国青年農業者育成研究集会等への派遣【講演、分散会】	2日	1	担い手育成担当者	—	—

### ウ 農業普及振興室が実施する研修

研修名	内容	期間(日)	人数(人)	対象者	出席者(実人数)	
					R2	R3
新任普及職員OJT研修	・ 普及指導員をトレーナーとするOJT方式で普及活動手法を習得【OJT研修】	—	—	新任普及職員	11	12
現場ニーズ対応企画研修	・ 地域の課題解決のための県外先進地の調査・分析【事例調査】	1~2	6名程度	普及職員	—	—

### (3) 国等が実施する研修

研修名	内容	対象者	出席者 (実人数)	
			R 2	R 3
普及指導員養成研修Ⅱ（経験者コース）	・普及指導員の役割・目的意識の醸成等、協同農業普及事業全般の知識の習得	普及組織に所属後、2、3年目の普及職員等	5	6
普及指導員養成研修Ⅱ（経験者コース）	・農業革新支援専門員の役割、目的意識の醸成と業務推進方法の習得	新任の農業革新支援専門員	3	—
新任普及指導員研修	・現場での活動方法、普及指導計画の策定のあり方等を理解することにより、地域・農業者等に対する基本的な支援が行えるスキルを習得	新任の普及指導員（普及指導員に任用後3年未満の者）	—	3
普及指導員実務能力習得研修Ⅱ（課題発見力向上コース）	・地域・農業者等が抱える課題の把握及び農業者等の行動を促すために必要な手法の習得	普及指導経験がおおむね3年以上の普及指導員	1	—
普及指導員実務能力習得研修Ⅲ	・効果的なマネジメント手法及び人材育成のあり方を習得	普及指導経験がおおむね10年以上のチームリーダーの役割を担う普及指導員	—	5
新任普及指導センター所長研修	・普及組織の総合力の発揮に向けたマネジメント手法等を習得	新任の普及指導センター所長	—	6
スマート農業研修Ⅰ（土地利用型）	・スマート農業の導入と地域における土地利用型農業の経営戦略及び営農体制の構築に関する知識・技術を習得	当該課題について、県の研修や普及指導センターのOJT等において現在又は今後指導的役割を担う農業革新支援専門員又は普及指導員	—	1
スマート農業研修Ⅳ（花き）	・花きの栽培に関する知識を習得	当該課題について、地域において中心的役割を担っているまたは今後担っていく普及指導員	—	1
野菜生産体制強化支援研修	・野菜の高品質化、生産の省力化、産地形成に等に資する知識・技術の習得	当該課題について、地域において中心的役割を担っているまたは今後担っていく普及指導員	1	—
鳥獣被害防止対策支援研修	・鳥獣被害を防止する手法や地域における関係機関との連携の考え方を習得	当該課題について、地域において中心的役割を担っているまたは今後担っていく普及指導員	—	1
有機農業普及支援研修	・有機農業に関する知識と普及支援の考え方を習得	当該課題について、地域において中心的役割を担っているまたは今後担っていく普及指導員	—	1